

節目によって成長しよう

船引小学校長 安生昌弘

今日は、前期と言って今年度 1 年間の前半分が終わる日です。そして 3 日間の休みを挟んで、あと半分が火曜日から始まるので、去年から終業式と始業式を一緒に行うことにしました。今日や来週火曜日のような一つの事が終わって、何かがまた始まる時のことを“節目”と言います。ある植物にも節目と呼ばれる部分があるので、その話をします。どんな植物でしょうね。実は去年も話しました。

みんなは、これが何という植物か、よく知っていますね。そうです。竹です。では、竹の所々にある区切りのような部分は何て言うのでしょうか。節あるいは節目と言います。学校の周りにはたくさんの木がありますが、ケヤキや桜などの木は、竹のように中が空洞になっていませんし、その途中に節目はありません。どうして竹には節目があるのでしょうか。



竹の節目の数は竹が小さいときのタケノコの中から決まっています。孟宗竹という太く背が高くなる竹では大体 60 個位あるそうです。この孟宗竹は、何と 1 日に 80cm ～ 100cm と言いますから 1 年生の背の高さ位も伸びることがあり、2 ヶ月ぐらいの間に 20m、つまり船小校舎の 2 倍位までの高さに成長します。凄い高さで凄い速さですね。どうしてそんなに伸びるかというと、60 個位の節目全部に成長点といって根から吸い上げた養分を伸びる力に変える所があるからなのです。竹以外の植物は、先の方の 1 箇所にだけ成長点がありますが、竹はどの節目にも成長点があり、60 カ所の節目が



一気にどんどん成長するので、すくすく伸びるんです。竹は、節目があることによってぐんぐん成長する訳です。

竹の節目には、成長の他にも大事な働きがあります。竹の中は写真のように空洞です。ですから、とても弱くて、強い風が吹いたり、雪が積もったりすると、すぐに折れてしまいそうですね。ところが、竹は滅多に折れません。それは、節目がたくさんあることで、しなやかなのに

節の内側で強くなっているからです。竹は、節目によって強くもなっているのです。

竹の節目は、自分の体を成長させたり強く丈夫にしたりするので、竹にとって、とても大事なんですね。今日のように前期と後期が、かわる日も節目になります。今まで失敗したことや上手く出来なかったことが、ある人にとっては、この節目は自分を大きく成長させる、また、強くて丈夫な自分にかえるチャンスです。あまり失敗をしないで頑張ってきた人も、自分をさらに高めるチャンスです。節目は、新しい自分をつくり出すチャンスなんです。自分の目標をもう一度見直して、しっかり目標を立てましょう。みんなの学校生活や家庭生活は、上手いかなかったら、節目を活かして何度でもやり直すことが出来ます。節目は自分で勝手に作っても良いのです。失敗したことや上手く出来なかったことをいつまでも残念に思っていないで節目を活かして、何度でも何度でも再スタートしましょう。船引小 644 名全員が節目のチャンスを活かすことを期待しています。